

加算する：次の「大きなゴール」に含まれるもの

SIA 理事会は最近の会合で、「教育へのアクセスを通じて 50 万人の女性と女兒の夢を応援する」という次の大きなゴールに取り組むことを改めて誓約しました。受賞歴のある私たちの「夢プログラム」は現在、「夢を拓く：女子中高生のためのキャリア・サポート」®と、「夢を生きる：女性のための教育・訓練賞」®を通じて、年間約 2 万人の女性と女兒に手を差し伸べています。2021-2031 年の「大きなゴール」に到達するためには、連盟内のクラブが、これらの人生を変えるプログラムを通じて手を差し伸べる女性と女兒の数を増やすことに共に取り組む必要があります。SIA 理事会は、皆様を信じています！

加えて、理事会は最近、クラブによるその他の一部の活動も、次の「大きなゴール」に数え入れることを表決で承認しました。クラブは地元の活動も数に入れてほしいとの要望を発し、それが実現します！クラブのプロジェクトが次の「大きなゴール」に数えられるためには、以下が必要です。

- 経済的エンパワーメントを最終的な目標とし、教育へのアクセスを高める。
- 障害に直面している女性と女兒にのみ奉仕する。
- クラブのプロジェクト報告リンクを使って SIA へ報告されている（報告リンクは、2020/21 クラブ年期の後半に共有されます）。

適格となるプロジェクトの種類には、下記が含まれます（障害に直面している女性と女兒というターゲット層に奉仕していることが条件となります）。

- 奨学金／学資金の授与
- 訓練クラス
- 教育を支援するための具体的な物品の提供（ノートブック型パソコン、教科書、通学のための交通手段など）

適格とならないプロジェクトには、下記が含まれます。

- ある空間を美化することに焦点を当てたプロジェクト
- 理解促進
- 教育の支援ではない物品の提供（ホリデーの贈り物など）

夢プログラムの活動を、その他のクラブの活動として報告しないようお願いします。そちらの情報を収集する手法は別途に確立されています。

適格となるプロジェクトの例として、金銭的ニーズに基づいて女兒へ授与される奨学金が挙げられます。このプロジェクトは、金銭的な障害を低くすることで教育へのアクセスを高め、障害に直面している女兒に奉仕しま

す。ただし、こうしたプロジェクトが「大きなゴール」に数え入れられるためには、適切に報告をしていただく必要があります。

適格でないプロジェクトの例には、ドメスティック・バイオレンス・シェルターに住む女性を対象として、お化粧のクラスを実施することが挙げられます。個人的な楽しみを目的として化粧方法のみに焦点を当てたクラスである場合、それは女性の経済的エンパワーメントを実現する可能性を高めることにはつながりません。しかし、クラブがスポンサーとなって行われる美容学講座がシェルターに住む女性の資格取得につながった場合、そのプロジェクトは講座を直接提供することで女性の教育へのアクセスを高め、障害を経験している女性に焦点を当て、雇用につながる技能を向上させることで経済的エンパワーメントを高めていることから、適格のプロジェクトとなります。

詳しい情報は、2020-2021 クラブ年期を通じて共有され、これにはリジョン大会も含まれます。具体的なお質問がある場合は、program@soroptimist.orgまで直接ご連絡ください。